

授業科目	教育実習 I				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免		ナンバリング	CH31502J		
開講年次	1	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2 DP5-3			
担当教員	阿南 寿美子、村上 里絵、末寄 雅美							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本学保育科では、建学の精神に基づいてキリスト教保育を基盤とした保育者養成を教育目標の一部として掲げている。そのため本実習では、本学附属シオン山幼稚園での「見学実習」をはじめ、キリスト教保育を実践する幼稚園を含む学校指定の実習協力園において、1週間の「観察・参加実習」を行い、保育に関する基礎的理解や幼稚園教諭としての基礎的資質や能力を培う。なお、実習園では実務家による指導を受ける。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習生としての基本的態度を身につけることができる。 2. キリスト教保育を含む幼児教育について体験的に理解できる。 3. 子どもと一緒に生活し、幼児の発達の姿を理解することができる。 4. 幼稚園教育の実際が概ね理解できる。 5. 観察の方法と記録の書き方が理解できる。 6. 教材研究の方法について、実習体験を通して理解できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	40	60	100	
知識・理解 (DP1-1)					4	6	10	
知識・理解 (DP1-2)					4	6	10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					4	6	10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					4	6	10	
関心・意欲 (DP3-2)					4	6	10	
態度(DP4-1)					4	6	10	
態度(DP4-2)					4	6	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					4	6	10	
技能・表現 (DP5-2)					4	6	10	
技能・表現 (DP5-3)					4	6	10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
子ども同士の関係から、子どもの言動の持つ意味を理解し、考察することができる。日々ののねらいに沿った観察をし、子どもに働きかけることができる。自らの保育実践について省察し、課題を明確にすることができる。				授業で学んだ知識を振り返りながら、子どもの言動や保育者の言動の意図を読み取ろうとする姿勢を持つことができる。保育者からの指導を謙虚な姿勢で受け止めることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	<p>附属シオン山幼稚園「見学実習」</p> <p>A)キリスト教保育の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教の精神に基づく保育の実際にあふれる <p>B)幼稚園教育の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の1日の流れを知る ・幼稚園の保育環境の実際を見る <p>C)幼児理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の子どもの姿、生活やあそびを知る ・一人ひとりの子どもの個性の違いを知る ・記録を書くことによって、幼児理解・保育の理解を深める ・幼児理解の大切さを知り、理解の方法を身につける 	<p>見学実習 (1日)</p>		
2	<p>実習協力園での「観察・参加実習」</p> <p>本学指定の実習協力園で実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園での事前オリエンテーション 2. 実習協力園での1週間の実習 <p>①園の教育方針に基づく保育の体験的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育の目的・内容を知る ・幼稚園の1日、1週間の流れを知る ・幼稚園の保育環境の実際を見る ・絵本、紙芝居、手遊びなどの保育教材を実践する <p>②幼児理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の子どもの姿、生活やあそびを知る ・一人ひとりの子どもの個性の違いを知る ・記録を書くことによって、幼児理解・保育の理解を深める ・幼児理解の大切さを知り、理解の方法を身につける <ol style="list-style-type: none"> 3. 実習のまとめ、反省、次回の課題設定 	<p>観察・参加実習 (1週間)</p>	<p>実習園における事前のオリエンテーションの実施</p> <p>実習日誌の作成・提出</p> <p>実習園での事後の手続き</p>	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「教育実習指導」を履修し、実習要件を満たしている者。			
テキスト	文部科学省・厚生労働省・内閣府『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼・小連携型認定こども園教育・保育要領』 『幼児さんびか』(キリスト教保育連盟) 書き方・あそび・保育のコツがわかる『実習の日誌と指導案』(ナツメ社)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「実習の基本的心得」「教育実習 1 手引き」他随時配布資料			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	教育実習指導の学びや課題、キリスト教学をはじめチャペルでの学び等日々の学びを実習に生かせるように復習しておいてください。決められた教育実習指導を受講していない場合には、実習を延期することもありますので注意してください。成長・発達過程の子どもたちに出会うという自覚を持って、各自実習に備えて万全の準備をしてください。			

達成度評価に関するコメント	関係レポート、提出資料などについては「教育実習指導」授業内で指示します。 その他については実習意欲・態度、幼稚園に対する理解、子どもに対する理解、保育技術等、幼稚園教諭としての適性・資質など、総合的に評価します。 実習指導の指導内容が守られなかった場合は、実習中の実習停止もしくは実習が終了している場合でも単位認定ができないことがあります。
---------------	--